

台湾新聞

TAIWAN NEWS ◆ 2017年2月6日号 東京発行 NO.238

発行元: 有限会社 台湾新聞社 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 4-19-4 TEL: 03-5917-0045 FAX: 03-5917-0686 <http://www.taiwannews.jp> E-mail: info@taiwannews.jp
 ■定期購読をご希望の方は台湾新聞社までお問い合わせ下さい。 定価 350 円(税込) 定期購読 12 回: 3,500 円(税込) / 24 回: 7,000 円(税込) ©郵便振替: 00140-4-594168

日本と共に半世紀

24時間ご利用可能なオンライン航空券
 「楽GO」運賃(成田・関空出発) (45日前購入)
 往復14,500円〜/片道7,300円〜
 ※空港税・燃料特別付加運賃別途。2016年12月時点運賃例。
 ◎その他にもお得なオンライン航空券を取り扱っております。

チャイナ エアライン 公式HP

名称変更で“日本台湾”を明記



除幕式には日本台湾交流協会の沼田幹夫代表(右3)、亜東関係協会の邱義仁会長(左3)らが出席(提供: 中央社)

日本の対台湾窓口機関の交流協会(沼田幹夫代表)は1月1日より、名称を「日本台湾交流協会」に改名した。同3日、台湾の同会台北事務所で新名称看板の除幕式を開催した。挨拶で沼田代表は「史上最良ともいわれる日台関係を背景に、設立45年の節目を新たな名称で迎えられることは望外の喜びだ。さらなる日台交流の強化と拡大に向けて一層の努力をしたい」と意気込んだ。

また、同式に参加した台湾の対日窓口機関・亜東関係協会の邱義仁会長は、「日台関係は一滴ずつ苦労して積み重ねたものだ。今回の名称変更は、単なる改名を超えた深い意義がある」と述べた。

改名理由について沼田代表は、昨年初めて台湾で行った日台関係に関する世論調査で、交流協会の認知度について「知っている」「意味が分かる」と答えた市民は回答者のわずか14%だった結果を受け、同会は名称変更の検討を開始したという。



日本台湾交流協会に名称変更(提供: 中央社)
 同式にはこのほか、台湾外交部の李澄然常務次長や日台関係者らが出席し、新名称を祝した。

また、同18日に台湾貿易センター主催の国際起業人材育成センター日本研修始業レセプションに参加した日本台湾交流協会貿易経済部の石黒麻里子部長は挨拶で、「これまでは事業内容を説明しないと、どのような団体なのか理解されにくく、PRに苦労してきた。名称変更後は、名前だけで皆様に団体の意図を理解していただけるようになったと思う。今後とも知名度向上に努めていきたい」と語った。さらに台北駐日経済文化代表処横浜分処の粘信士処長

TOPIC	
日本語版	
●福岡の企業が「台湾製観光バス」の輸入販売契約を締結	2面
●震災テーマの展示会、日台で共同企画	3面
中国語版	
●賴清徳訪東京 感謝賑災援助	1面
●關西台商會與千葉友會首度交流	4面
●台灣祭	8面

WEBでもニュース記事が読めます
<http://blog.taiwannews.jp/>

2017年度新年会承ります
 南園料理で宴会プラン楽し(歓送迎会!!)

予約電話: (03)5215-2537

も、「(交流協会の名称変更により) 日台関係が一歩前進した事に感謝している」と述べ祝した。

謝代表、代表処の改名に意欲

台北駐日経済文化代表処(以下:代表処)は1月6日に同処の謝長廷代表官邸で開催された新年会で、記者から代表処の名称改名の可能性について問われ、「名称改名は代表処の権限ではなく、台湾の外交部や行政院の政策などが関係する。しかし、もし改名できるならそれに越した事はない」と改称に意欲を示した。



日本台湾交流協会の今井正理理事長(右)から新たな名刺を受け取った謝長廷代表(左)

これは、先に改称した日本の対台湾窓口機関である「日本台湾交流協会」の名称変更に対応しての質問であり、謝代表は、代表処が現在引用している名称「台北」に対して、以前より名称表記に疑問視する声が高く「台湾」表記を望む声強い事も明らかにした。

謝代表によると、代表処は台湾の駐日代表処であるにも関わらず、現在「台北駐日経済文化代表処」の名称となっている。台北市政府の代表と誤解される事もあり、「私たちは台湾を代表しており、台北を代表している訳ではない」と

指摘した。さらに謝代表は、日本台湾交流協会の今井正理理事長から新たな名称入りの名刺を受け取り、「現実的に即しており、関係の前向きな発展を示すもの」と祝辞を述べた。これを受け今井理事長も「日本台湾交流協会を代表し、ご挨拶申し上げます」と名称変更を強調したほか、「日本と台湾の間は心の絆がある。これを大切に同会の役割を果たしていく」と意気込んだ。

一方新年会では、日台の関係者に加え在日の台湾人華僑も数多く出席し、新年の日台の門出を祝した。

頼台南市長訪日、台南地震の謝意示す

台南市の頼清徳市長はこのほど、昨年2月6日に起きた台湾南部地震時の日本からの支援に対する謝意を示すため、1月15日から17日の3日間に渡り訪日した。16日は日本記者クラブで記者会見を行い、17日には小池百合子東京都知事を訪れた。

頼市長は16日、117人が犠牲となった台湾南部地震について、日本政府、各会からの支援に対して感謝の意を表しただけでなく、「新時代の日台交流」及び「震災の援助が日本と台湾を結ぶ」と2つのテーマを基に講演会を開いた。同会にはジャーナリストの野嶋剛さん、台南親善大使の一青妙さん、台南市外交顧問の野崎孝夫さんらも出席した。

頼市長は冒頭、台湾南部地震の際、震災が発生した14時間後には、予備調査隊が被災地到着した事など日本側の迅速な対応に感動したと話し、感謝の言葉を述べた。当時、多くの国々が



頼市長(左2)と東京都小池百合子知事(提供: 台南市政府)

支援物資を送ろうとしたが、日本はまず現地入りし、被災者が今何を必要としているかを調査し、その予備調査に基づき120万米ドルの支援にとどまらず、必要な物資の支援や給水等、台南被災者の立場にたって考えてくれた事を振り返った。

そして2か月後の昨年4月、熊本大震災の発生時、台南市はすぐに義援金を送り、日本を支援した。頼市長は、この日本と台湾の関係を「まさかの時の友こそ真の友」とであると主張した。また日本の対台湾窓口機関「交流協会」が「日本台湾交流協会」と名称変更した事は、日台の関係が新たな時代に入り、プラスの方向に発展している証拠であると述べ、「現在漁業、交通、貿易、経済等47項目の協定が締結しているが、正式な外交関係がないため、現地店では歴史や政治的要素により日台交流に限界はある。しかし、日台の関係は価値観を共有し、地理的にも助け合いながら発展できる『生命共同体』だ」と主張した。

頼市長は最後に、自分は今地方自治体の交流の最前線に立っているとし、互いに助け合い、日本と台湾の関係が継続し、新たな段階に発展できるよう邁進していく決意を表した。

小池都知事と会談一雪中送炭一

最終日の17日、頼市長は東京都庁で小池



会談後記念撮影する小池百合子東京都知事(右)と頼清徳台南市長
 都知事と会談した。会談中小池都知事は、「雪中炭を送る(人が最も困っている時に援助の手を差し伸べる)」と、台湾で覚えた中国語のことわざを用いて、日本と台湾の関係はそうあるべきであると主張した。

また小池都知事は、当日が偶然阪神・淡路大震災の起こった日である事に言及し、当時台湾からの支援に対して感謝の意を表した。続いて、1999年に台湾で起きた921地震では、小池都知事は自ら被災地に足を運び、阪神・淡路大震災で使われていた仮設住宅を台湾に提供した事を振り返り、この出来事が日本と台湾のわかりやすい連携の始まりであると述べた。小池都知事は、「自然災害という相手は見えない敵だけれど、国民、市民のため、今後もリーダー同士しっかり連携を取っていききたい」と決意を固めた。

今回の会談を通じて頼市長は、「小池都知事とは初めての面会だったが、大昔からの友達のような」と述べ、2020年に開かれる東京オリンピックの成功を祈った。

プラスの力になる
 台湾新聞

続けて読むから「台湾」が解る
 台湾のとれたて情報を毎月お届け。

年間定期購読

毎月第1月曜発行

お得01 送料無料でお届け!

お得02 1年契約で700円お得!

※12回発行で購読料3,500円(1部350円×12=4,200円)

～お申込みはかんたんです(住所:電話番号・お名前:契約月)～
 お申込み窓口 (TEL03-5917-0045 FAX03-5917-0686) まで
 メールでも受付中! (info@taiwannews.jp)

絶賛発売中!!

台湾あります

日本で堪能できる
 台湾料理のお店を
 厳選して掲載しました。

台湾美食

Delicious Taiwan vol.2
 日本で食べる! 本場のおいしい台湾料理

店頭で使える
 おトクな
 クーポン付き

家庭で作れる
 かんたん
 台湾料理
 レシピ付き

お問い合わせ
 台湾新聞社 台湾新聞編集部
 03-5917-0045 info@taiwannews.jp

¥1,500+税

EVA AIR A STAR ALLIANCE MEMBER

5 STAR AIRLINE SKYTRAX

エバー航空

航空業界 最高評価
 SKYTRAX 5スターエアライン

エバー航空についてのおトクな情報はこちらをチェック!

HP Twitter Facebook

福岡の企業が「台湾製観光バス」の輸入販売契約を締結



ジャーモーターの大型観光バス(写真提供:博洋自動車)

福岡でバス、トラック、ダンプ等の大型車両の整備・販売を行う博洋自動車(吉田佳史社長)はこのほど、台湾のバス製造会社「ジャーモーター」(呂文端社長)と大型観光バスの日本輸入に関する総括的な代理業務契約を締結した。福岡商工会議所内の台湾貿易センター福岡事務所で1月17日に発表した。

ジャーモーターはイタリア IVECO BUSにも車両を供給しており、その技術力は高く評価されている。今回の博洋自動車との契約でジャー社は、右ハンドル仕様の製造ラインを新設し、20年の東京オリンピックに向け、インバウンド客増加に伴う大型観光バスの需要増を見込んだ日本市場へのさらなる開拓を目指す方針だ。

膨大な需要を背景に、同一規格で大量に製造される乗用車と異なり、大型車両の仕様は多岐にわたる。工程も複雑なバスの製造は、注文住宅の建築に例えられるほどであり、この厳しい経営環境の中で合従連衡を繰り返した結果、現在日本における実質的なメーカーは「三菱ふそうトラック・バスの子会社」と、日野自動車といすゞ自動車の合併会社である「ジェイ・バス」の2社だけになっている。このため、昨今のインバウンド客の増加や国交省の指導によるバス運行会社の経営改善傾向などでメーカーへの発注が増えても、生産台数を増やすのは容易ではない。

2015年時点における大型バスの1日当たりの生産台数は三菱ふそうで10台程度、ジェイ・バスも20台程度に過ぎない。発注から引渡しまでの期間も約1年近くかかるの

が通常で、両社ともこの短縮に全力を傾注しているものの、需要の増大には追いついていない。

この状況下で、整備点検の顧客であるバスの運行会社より「オリジナル리티をもった大型バスを作って欲しい」との強い要望

を受けた博洋自動車の吉田社長は、完成車の輸入を考え、世界中のメーカーに打診した結果、行きついた先が台湾のジャーモーターだったという。吉田社長によると、呂社長のバス作りに賭ける情熱と併せ、ジャーモーターの現場で見た高い技術力、モノ作りに対する職人魂を持った社員の熱意、顧客の細かい要望への対応も厭(いと)わない柔軟性が契約締結への背中を押したという。一品生産に近いオリジナル리티や応用力を要求される製造にもかかわらず納期も6ヶ月程度と短く、価格も国内生産の2割程度安価のため、今年6月より輸入を開始し、18年には60台の販売を目指すという。販売価格は1台3300万円を標準とし、全国の運輸局認定の第一種整備工場を販売窓口をとして、販売からメンテナンスまで一貫して対応出来るネットワーク構築を進める。

呂社長は、今回の契約をきっかけにシャーシー、ボディ、内装品等数万点の部品のす

べてを自社で調達・組立てる完成品メーカー(コーチビルダー)になる事を目標とし、そして日本への輸出ビジネスを確立させ、さらにグローバルメーカーとなり、豪州を始めとする右ハンドルの国々に向けたビジネスの業容拡大も目指す、とした。

一方、観光バス不足が原因となって外国の観光客が訪日を断念せざるを得な

かった2013年と14年の「事件」は記憶に新しいが、それが台湾からの団体客であった事が今回のバス輸入契約との不思議な縁を感じさせる。2013年には北海道で、14年には立山アルペンルートで台湾のツアー客の一部が観光バス不足のため、訪日を断念せざるを得なかったものだ。これは訪日外国人客が初の1000万人を超えとなった時期と符合するが、日台間の窓口である亜東関係協会から日本台湾交流協会を通じて観光バスの供給輸送力増強と手配の円滑化・正常化について善処を求める働きかけがされるなどの騒ぎとなった。

2016年の訪日外国人客の総数は2400万人に達し、今後も増える事を考慮するとバス不足はますます慢性化し、さらに深刻な事態を招く懸念がある。それを誰もが考えているにも拘らず、過去の企業再編の経緯や予測できない世界の政治・経済情勢の行方を思慮したとき、国内メーカーには増産に踏み切るだけの投資意欲が盛り上がらない事が報じられている。

今回のジャーモーターと博洋自動車の契約を仲介した台湾貿易センター福岡事務所の林淑恵所長は、控えめな表情で「台湾からの旅行者は自国製のバスで日本国内を観光する事を誇りに思うだろうし、私自身も街中で台湾製のバスを見かけられるようになれば大変嬉しい」と指摘する一方で、今後の日本の観光旅行は、思いのほか台湾製のバスという屋台骨によって支えられる事になるのかも知れない、と胸中を吐露していた。



契約締結を発表する 左からジャーモーター:呂文端社長、博洋自動車:吉田佳史社長、台湾貿易センター:林淑恵所長

ITI研修生、日本企業研修スタート



ITI 学生にエールを送る横浜企業経営支援財団(IDEC)の牧野孝一理事長(中央)

台湾貿易センターが主催する2017年度国際企業人材育成センター(ITI)日本研修始業レセプションが1月18日、ホテルオークラ東京で開催され、ITIの学生ら49人と横浜地区の受け入れ企業がファーストコンタクトをとった。

ITIは日本のJETROにあたる台湾貿易センターが運営する教育機関。同日日本研修は、ITI日本語コースで国際貿易やマーケティングを学んだ学生が、3週間にわたり実際に日本のビジネスの現場を経験するもの。

レセプションでは、横浜地域で行われている企業研修を請け負う横浜企業経営支援財団(IDEC)の牧野孝一理事長や、日本台湾交流協会貿易経済部の石黒麻里子部長、台北駐日経済文化代表処(以下:代表処)経済組の張厚純組長、代表処横浜分処の粘信士処長、横浜市議員の石渡ゆきお氏、

こがゆ康弘氏らのほか、横浜地区の学生受け入れ企業の担当者らが出席し、ITI学生らと交流を深めた。

牧野理事長によると、IDECは平成17年度より横浜市市内企業の国際化を支援するため同事業を請け負っており、横浜での同事業は今年で12回目となるという。また、事業企画の際には、IDECメンバーで台湾の新竹にあるITIの学校に訪問し、実際の授業風景を視察したほか、一人一人と面談なども行い、日本研修でどのような企業を希望するか、どの業種を追加してほしいかなど、学生らの意見を取り入れるなど積極的に事業計画を練ったという。

当日、主催者を代表して挨拶した台湾貿易センター東京事務所の呉俊澤所長は、「研修生は、今まで学んできた日本語を使って実務に携わるだけではなく、日本の企業精神や企業文化を肌で感じながら学ぶという、大変貴重な体験をする。この研修で多くのものを学び、将来日台を結ぶ架け橋になってほしい」と期待した。また、粘処長は、「国際事業を行ううえで最も貴重なものは人材だ。研修生には今後日台企業との連携に尽力してほしい」とした。

研修生の台湾人男性は、「もと

り、ITIに入って勉強した。今回の研修は、普通はなかなか頂けないとても貴重な機会なので、精一杯頑張りたい」と意欲を示した。なお、研修生の陳弼凡さんと頼廷妮さんはレセプションの途中、壇上で流暢な日本語を用いて原稿も見ずにITIについて説明を行い、会場からは感嘆の声が上がった。

ITIは2年間で外国語と経営などを学ぶ人材育成機関。入学時には日本語を一から学ぶが、1年半学んだ来日時には日常会話が可能で、卒業時には日本語能力試験のN1に合格する人が約7割。N2に関しては100パーセントの確率で合格するという。英語もTOEIC901点(平均)の実力に加え、会計学、国際マーケティング、国際商法なども履修しており、卒業後は台湾のハイテク企業等に就職するという実力を持つ。



受け入れ先の企業とファーストコンタクトをとった ITI 学生

台湾南部ホテル、中国大陸客減少により大打撃

ここ数年台湾南部でホテルの売却が目立っている。従来比で140%増の売却率で、多くの業者がホテル売却へと動いている。価格比較サイト「屋比」の統計によると、昨年の12月末までに南部で54社のホテルが売却サイトで見受けられ、高雄市においては22社と最も多く、先月比で15社、40%増となった。高雄市に次いで屏東県が14社、台南市では12社となっている。

高雄市のホテル業者は何故こんなにも積極的に市場を撤退するのか。台湾週刊誌「鏡傳媒」によると、高雄市は元々ホテル業が多くないが、2009年に中国大陸客(以下:大陸客)の受け入れが正式発表されて以来、台湾6都市の中で高雄市は最も大陸客受け入れに力を入れてきた。國賓、漢來、華王、君品など、ホテル及び複数の旅行会社は大陸客受け入れ開始に伴い、建設がストップしている建物を買収し、ビジネスホテルへと建て直しを進めた事が高雄市のホテル業の再活性化につながったとしている。また、大陸客を収容するために多くの旅館が建設され、開放前の旅館数245社に対し、2016年11月には415社に増加、ここ8

年で70%以上の成長を遂げた。しかしながら大陸客が減少した今、自然と経営が難しくなり、売却するほか道はなくなった、と報じている。

さらに影響を受けているのは、ここ数年で建設した旅館だけではない。五つ星ホテル業者ですら価格競争に晒されている。國賓ホテルは今年に入り「連泊優待券」と11日連泊で3万2千円を目玉商品として販売を始めた。1泊に換算すると3000円にも満たない。また漢來ホテルでは「1泊すると2日目無料」を実施し、2泊で4700円に加えてサービス料を足しても1泊2600円にも満たず、「これらの対策がこの業界で生き残る術である」と業者は話す。

一方、墾丁で「海灣羅曼史」の民宿を経営する陳さんは台湾メディアの取材に対し、恆春、關山、白沙灣及び佳樂水一帯は既に2、3割のホテル業者が経営不振となり、自分のホテルを手離す準備を開始していると語った。

今後、台湾政府は東南アジア、北東アジア地域からの受け入れるつもりだが、人口世界一の大陸客の穴を埋めるのは難しいと見方が強い(元=ニュー台湾ドル)。

台湾慰靈訪問団が福岡で報告会

旧日本軍の軍人・軍属として亡くなった台湾人を慰霊するため平成11年から毎年台湾を訪問している日華(台)親善友好慰靈訪問団(小菅玄三郎団長)は1月21日、福岡市内で昨年11月に実施した第18次訪問団の報告会を行った。報告会には同訪問団の参加者を含めて日台交流関係者60人が集い、黙祷をささげ、戦没者の霊を慰めるとともに、日本と台湾の過去、現在、未来についての想いを語り合った。

小菅団長は冒頭、50人という多くの方々の参加を頂いた今回の訪問が、慰霊の目的を果たしてひとりの脱落者もなく無事に帰ってこられた事に対して団員の協力に感謝し、関係者の労をねぎらった。また、慰霊訪問のきっかけとなった台湾への社員旅行で受けた啓示的な衝撃と、それを衝撃と感じさせたその前の中国、韓国への旅行について振り返るなど、順々と説明した。このなかで、日本人として育てられ、日本のために戦場に赴いて亡くなり、今は別の国籍になってしまった33000余りの人々に思いを馳せ、心を寄せ、その方々を忘却の彼方に追いやってしまわぬ事が本当の供養であり、我々の使命である、と力説した。このほか、「台湾と中国は経済的な結びつきも強く、我々が距離を推し量ることも難しいが、それぞれの立場で台湾を応援する意思表示をしよう」と締めくくった。

一方、「蔡英文新政権をめぐる日台関係」と題する基調講演を行った台北駐福岡経済文化弁事処の戎義俊処長は、講演の本题に入る前に日本と台湾をめぐる最近の三つの動きに言及した。第一は、昨年台湾外交部が行った世論調査を引用し、台湾国民が行きたい海外旅行先の1位が日本であり、また好感度を持つ国として七割以上の人々が日本を挙げている事。第二は、これらを反映して台湾と日本の観光往来が昨年初めて600万人に達した



慰霊訪問団長の小菅玄三郎氏

事。第三は、1972年の断交以来「財団法人交流協会」という名前を使っていた日本の台湾駐在機関(大使館に相当)が今年1月4日に「日本台湾交流協会」と名称変更した事を挙げた。

同名名称変更について、台湾駐在機関の名称に「日本」と「台湾」双方の文字が入った事は、単なる改名を超えた画期的な意味があり、今後は台湾と国交のない国々との間でもお互いの国名を呼ぶようになるなどの好影響をもたらすものと確信すると述べた。

さらに、蔡英文新政権誕生以来「一つの中国」の受け入れを迫る中国の台湾に対する圧力については「非常に厳しい」とし、数少ない台湾承認国であった西アフリカの島国サントメ・プリンシペとの断交への間接的関与、ナイジェリアの台湾代表処を首都から追い出すなど、様々な国際機関への台湾の出席妨害などで台湾を外交の孤立へと追い込んでいくと問題提起した。

戎処長は、「このような難しい情勢の中で蔡英文政権は対外政策の柱に『新南向政策』を掲げ、中国に依存せず、ASEAN・東南アジア諸国・南アジア・オーストラリア・ニュージーランド等とのウィンウィンの関係を築こうとしているが、日本の皆様には是非この政策へのサポートをお願いしたい。知恵と力を貸してほしい」と訴求した。

寄稿

朱文元先生を偲ぶ会(お別れの会)平辞

～日・華・中関係史に筆紙に尽くせぬ功績を残された偉大の朱文元先生に捧げる哀悼の言葉～

私の尊敬する朱文元先生が昨年6月22日、99歳でお亡くなりになられた事を知り、我が耳を疑う程驚いております。

私は深い悲しみを感じており、惜しい方を亡くした思いで涙を禁じ得ません。

長男・朱恭亮様を始め、ご遺族の悲しみは如何ばかりかと心からお慰めと致しますと共に、畏まりない哀悼の思いを捧げたいと存じます。

偉大な朱文元先生は、その学識教養共に深く且つ豊かでありました。日本華商總會会長、名誉会長になられ、先生は「日本華商總會」の発展に力添えて下さり、そして多大の貢献をしてきました。

先生の温厚篤実、品格、知行合一、慈愛に溢れ、周りの方を和ませ、物事を

處するに当たっては、その事案に真剣に向き合われ、公を考えられ、我々在日華僑の間で深く尊敬されていました。

長く長く尊敬すべき先生でしたが、魂は既に鶴の背に乗られて西方浄土に帰って行かれました。

しかし先生の御威徳と心に残る数々のお言葉は、人々に先生をより一層の慕い申し上げる思いを強くいたしております。

尚、ご遺族の皆様には耐えきれぬ悲しみとは存じますが、皆様がお体を大切にされる事が、天界の先生の御霊に安心して頂く事になります事を念願致し、お慰めの言葉とさせていただきます。

平成29年1月16日

日本華商總會
理事 林丕繼

「台湾ナローゲージ」 海を渡り日本へ



「巡回車111号」の前で記念撮影するアジア太平洋遺産&鉄道観光機関の謝明勲副代表(左)と高雄市立歴史博物館楊仙妃館長(右)

台湾の鉄道歴史を再現した特別企画「ナローゲージ王国・台湾の軽便鉄道展」が1月18日より3月13日まで、原鉄道模型博物館で開催中だ。原鉄道模型博物館と昨年6月30日に開館したハマセン台湾鉄道館(高雄市立歴史博物館運営)が締結した友好協定により開催しているもので、両館が台湾鉄道史を日本人に知って欲しいとの思いから今回の展示会へと繋がった。

同展は、歴史、産業、社会面と三つのテーマから台湾軽便鉄道の発展を紹介している。台湾ナローゲージの普及は、日本統治時代のさとうきびの輸送から始まった。展示の中にある1970年代に作成された「台湾糖業鉄道路線図記録」によると、ナローゲージがどれだけ各地で付随されていたか一目でわかるように工夫されている。

今回の展示品は全て高雄市より運ばれてきたものであり、台湾の鉄道コレクターによって収集した貴重な展示品も数多い。中でも目玉なのが、原鉄道模型博物館1階外に展示してある「巡回車111号」である。この展示品は1921年に台湾製糖会社によって製造された列車の一部であり、台湾糖業股份公司協力の元、初の海外出展でもある。当時、この列車は標準軸の半分であるため五分車と呼ばれ、さとうきびの運送用、その後学生の通学列車としても使われていた。現在は、糖業鉄道のうち最も古い歴史を持つ動態可能展示型として烏樹林文化園区に置いている。

鉄道を通して日台文化交流発展に期待

開幕初日の18日には、オープニングセレモニーが開催され、原信太郎元館長の妻である原美津子現館長、高雄市立歴史博物館の楊仙妃館長、同展にて数々の展示品を提供したアジア太平洋遺産&鉄道観光機関の謝明勲副代表、台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表らが来賓として出席した。同セレモニーでは開幕を祝したテープカットを行ったほか、各来賓が祝辞の言葉を述べた。

原信太郎元館長のご子息で同館の原丈人副館長は、「日本と台湾の関係は、人の交流、文化の交流が深い二つの国であり、鉄道文化を通じて日本と台湾の交流をますます

深め、共に発展できる事を期待している」とコメント。楊館長は、「鉄道歴史の保存、及び台湾鉄道の発展需要価値を発信するため、2014年に原鉄道模型博物館を視察した際、模型汽車に対する情熱、

展示企画の新鮮さに感激した。この展示会で日本の皆に高雄市独特の鉄道歴史を体験してほしい」と語った。

また来賓の謝代表は、「日台は各分野において盛んに交流を行っている。この展示会を通してもっと多くの日本人に台湾のライフスタイル、鉄道文化を知ってほしい」と祝した。

原鉄道模型博物館での台湾に関する展示会は昨年1月6日開幕の「台湾の鉄道展」に続き今回で2回目であるが、台湾の博物館と締結しての展示は今回初めてである。美津子館長は、「主人は汽車、電車一途で、自分は何が一番好きか、どうする事が皆のためになるかをよく考えていた。この展示会、そして主人を通じて家庭のあり方をもう一度考えてほしい、汽車、電車を好きになってほしい」と思いを語った。

なお、現在ハマセン台湾鉄道館の2階には鉄道原信太郎さんが作った模型が展示されている。



アジア太平洋遺産&鉄道観光機関謝副代表によって提供された展示品の数々



テープカットの様子

震災テーマの展示会、日台で共同企画



左から台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表、国立歴史民俗博物館の久留島浩館長、国立台湾歴史博物館の王長華館長、国立歴史民俗博物館研究系の荒川章二教授

国立歴史民俗博物館(以下:歴博)と国立台湾歴史博物館(以下:台史博)は初の共同事業として、展示会「台湾と日本—震災史とともにたどる近現代—」を1月11日より2月19日まで、歴博にて開催している。同展は、歴博と台史博が2014年7月に学術研究交流協定を結んだ事をきっかけに開催しているもので、同協定締結後、両館は日本と台湾の歴史における震災をテーマに共同で研究しており、同展はその研究成果を展示している。

このほど歴博では台湾の歴史的大地震の展示を行っているが、一方、今後の予定として今年6月17日より約半年間、台湾の台史博を会場に日本の関東大震災、東日本大震災等日本で発生した大地震についての展示

を計画しており、日台が連動する企画となっている。

日本列島と台湾列島は自然地形でのつながりにより、近年、これが起因して連動する地震が発生しているが、これまでこの事実に関連する展示会は例がない。初めてと見られる日台の震災に関する同展示会では、日本と台湾にある密接な震災関連構造を目に見える形で多くの人々に伝える事を目的としている。さらに、日本と台湾の震災とその復興過程において、当時の日本総督府が救済と復興の面で果たした役割と研究、さらに統治時代の実態についても知見を深める事ができるなど、展示内容に工夫が凝らされている。また、日本の統治時代の震災及び1999年の921大地震に焦点をあて、国立台湾図書館や台湾大学、加えて個人の所有している貴重な資料等がパネルにまとめて展示されているのも目玉の一つ。

両館長が共同研究で日台交流に期待

同展示会の開催初日の11日、開会式が行われ、歴博の久留島浩館長、台史博の王長華館長、台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表らが来賓として参加し、開催を祝した。

久留島館長は「共同研究は始まったばかりだが、この展示会を通して歴史的研究課題だけではなく地質学、防災科学、歴史学間で新しい研究課題が共有でき、実感を持ってたと同時に、両館共同研究をベースに日本と台湾の学術研究広がり行く事に期待する」と話した。また、王館長は「この展示会を通して、救援体制及び震災を通しての国際関係、震災復興の問題に目を向けるほか、震災後の地域コミュニティの復興やアイデンティティの問題に焦点を絞り、複数のエスニック集団を取り上げていきたい。台湾震災の歴史や両国の助け合いの歴史を知ってもらい、今後両館、両国の交流が深まるのを楽しみにしている」と話した。

来賓の謝代表は「日台はパートナーという関係を通りこして運命共同体の関係であり、両国の災害の歴史理解だけではなく、日本と台湾の連携がより高いレベルになる事を期待している」と祝福した。



展示について説明する荒川教授

『鬼殺し』日本発刊記念トークショー開催

台湾若手実力派作家の甘耀明さんの代表作である『鬼殺し(上)(下)』の日本発刊を記念し1月22日、ブックファースト新宿店で、甘さんと「流」で直木賞を受賞した作家の東山彰良さんのトークショー及びサイン会が開催された。

同イベントは、昨年12月27日に日本で発刊した『鬼殺し』の発売を記念して開催されたもの。台湾客家出身の甘さんと、台湾国籍を持つ同書推薦者である東山さんが、同書の魅力と創作背景、台湾の伝統的な宗教について等作家の視点での語り合いトークショーをしたほか、Q&A、サイン会を行い、ファンとの交流も図った。会場には多くのファンが駆けつけ、満席となった。

東山さんは冒頭、マジックリアリズム(日常にあるものが日常にないものと融合した作品



一人一人丁寧にサインする甘さん

に対して使われる芸術表現技法)を好んでいる事を話し、その上で、「この『鬼殺し』はマジックリアリズムの教科書である」と絶賛し、同書の帯に自分の名前が載ることを「光栄だ」とした。また、「これから先、この甘さんの物語を基に自分の物語を組み立ててしまうのではないかと、しばらく自分自身が自由になれるのではないかと、それくらい影響を受けた作品である」とコメントした。

これに対し甘さんは、「日本の統治時代の兵士を大げさに表現したり、物事をほら話のように想像力豊かに描写したりする事で、戦争を知らない読者に伝える事ができたと」自評した。さらに、「鬼殺し」の名前について、「鬼」とは中国語では幽霊の意味があるが、深い意味で見ると、敵対の相手となる。同書でも、敵対の相手に悪名を与えたいという思いから、その「鬼」の殺し合いの意味を表しているとした。

また、同トークショーでは、甘さんも東山さんも、幼少期は祖父母に育てられたという共通点がある事が明らかになり、両者は「環境により、自然と口承文学よりの作品となっていて、幻視的経験や原風景によって知らず知らずのうちにマジックリアリズムの手法を用



日本発刊を記念したトークショー開催
甘耀明さん(左)×東山彰良さん(右)

いているのだ」と語り合った。

「鬼殺し」は日本統治期から戦後に至る激動の台湾・客家の村で、日本軍に入隊した怪力の少年が祖父と生き抜く物語で、甘さんが闘病を乗り越え、5年の歳月をかけて書き上げた約40万字の長編作品。2009年遂に台湾で発刊が叫び、台北国際ブックフェア小説部門大賞等数々の賞を受賞し、作家として高く評価された。

なお、同書の翻訳は、甘さんの作品「神秘列車」の翻訳も担当した白水紀子さんが務めた。白水さんは、横浜国立で教授の仕事をする傍ら同書の翻訳をし、3年もの月日を経て、このほど日本で念願の発刊となった。

「2016年臺灣修学旅行現地研修」を実施！

公益財団法人全国修学旅行研究協会主催、臺灣観光協会後援の平成28年12月25日(日)～27日(火)に実施した「平成28年度 2016年臺灣修学旅行現地研修」が終了しました。

今回は、臺灣の台北市並びに宜蘭縣を訪問しました。

初日は、台北市内の松山空港到着後、宜蘭市内を目指しバスで移動しました。視察先は、西郷堤防や宜蘭縣の設治館を視察しました。それぞれの視察先到着までは、車内で、今回も講師である(株)ユニテッドツアーズ顧問の古川勝三氏が務められた。古川氏は、かつて臺灣の「高雄日本人学校」にも勤務された経験を持つ方であり、臺灣のことは熟知している。

西郷堤防については、「西郷菊次郎が、河川工事、農地の拡大、道路整備、農産物収穫増加政策等の事業を行った。土匪の反乱を治めて、住民の生活を安定させた。一番の偉業は、巨額を投じた「西郷堤防」と呼ばれる宜蘭川堤防(全長約1.7km)を完成させた。」と古川氏が参加者の前に述べた。

この日(12/25日台北晴、気温26℃)の宿泊先は、宜蘭市内冠翔世紀温泉會館である。

2日目(12/26日宜蘭・台北晴、気温29℃)は、ホテルからバスで移動し、最初に「國立羅東高級中學」への視察である。ここでは、謝校長先生の歓迎挨拶から始まり、

今回の旅行団団長の全国修学旅行研究協会の岩瀬司理事長が挨拶され、次に学校代表者として、埼玉県立草加高等学校校長の木田一彦が挨拶をした。

歓迎セレモニーが終了して、校内を見学、見学後はバスで、國立羅東高級中學をあとにした。

國立羅東高級中學を出発し、「千と千尋の神隠し」で有名な、九份視察(老街散策)を行った。日本で言う昭和を感じる地域である。その後、十分に移動し、今回の現地研修会で初めて、天燈上げの体験をした。夜はさらに素晴らしい光景である。二十十分は、平溪線の線路上で行い、ディーゼルの列車が通過するときだけ、線路脇に避難し通過を待つ。1つの天燈につき、2人一组で2面ずつ願い事と名前を書き、上空に飛ばす。皆さんが願い事を真剣に書き、願いを込めて、十分の快晴の夜空に向けて、上げた。「きっと願いが叶う!」。

夕方には、台北市内に戻り、「世界貿易中心聯誼社(世界貿易センター)」において、臺灣政府交通部觀光局主催夕食会に一行は出席した。今回、臺灣政府交通部觀光局長の周永暉様が登場された。局長の周様は、臺灣鉄路から局長にご就任され、今後、日本から多くの高校生の教育旅行として、受け入れた事を述べられた。

最終日(12/27火)は、「總統府内」を見学した。「總統府内」は2016年に政権交代



總統府前での記念撮影

したばかりの第14代中華民國總統で、民主進歩党主席の「蔡英文」氏である。「總統府内」の展示も一新されており、展示内容も大きくかわっていた。

なお、「總統府」見学後、「忠烈祠」の衛兵を見学して、「國立故宮博物院」を見学した。今回は、「水翠白菜」が、「國立故宮博物院南院」から昨年11月に戻り、展示されていた。その後、昼食をとり、松山空港からエバー長栄航空公司で、羽田空港へ向けて離陸した。

今回も日本の高等学校の先生方は、「来年の修学旅行は臺灣!」や「平成30年度に臺灣!」という、高等学校が多かった。今回の臺灣現地研修に参加して良かった。という印象が多かった研修旅行でした。

埼玉県立草加高等学校
校長 木田一彦

草加高校、台湾修学旅行に向けて セミナー開催



台湾の歴史や日本との関係などを話す
木田一彦校長

埼玉県立草加高等学校(校長:木田一彦)は1月23日、同校で1年生の生徒370人を対象に、「第1回臺灣修学旅行セミナー」を行った。講師は、過去10回訪台している木田校長自ら勤め、今までの訪台経験を基に、台湾の歴史と日本との関係について、台湾修学旅行の事例について、台湾と日本との国際交流事業のまとめについてなどを披露した。

特に、台湾と日本との関係については、烏

山頭水庫を建設した技師・八田與一氏の功績について力を入れて説明したほか、台北市内のグループ別見学等をする場合、台北市内の地下鉄のトークンや一日乗車券も紹介しながら、國立故宮博物院や總統府、忠烈祠、中正紀念堂、台北101、龍山寺等の説明も行った。

草加高校は、平成25年度から埼玉県東部地区の県立高校で初めて台湾修学旅行を実施しており、本年11月で3回目の予定で準備している。平成21年度に埼玉県立志本高等学校が埼玉県立高校で初の海外修学旅行を台湾で実施している。それ以降毎年3～5校程度、台湾への修学旅行を埼玉県立高校が実施している。

木田校長は、「生徒は初めて海外に渡航する生徒が多い。その渡航先が台湾です。校長としても、4泊5日が有意義な修学旅行になるよう期待しています」と語った。

Digest News / January 2017

— 1ヶ月の出来事をダイジェストで振り返ります

Jan.1 今年のテーマ「ライトアップ台湾」

毎年恒例のニューイヤー花火が台北101にて開催された。今年のテーマで、新たにライトアップによる演出が施され、台北101のビル外壁の四方から2万発の花火が打ち上げられた。その時間は238秒の長さに及ぶなど壮観だった。観覧者の総数は248万人と昨年対比で39万人減少(主催者発表)したものの、近隣の道路や地下鉄の駅も含め大混雑だった。また台北101付近で毎年台湾の有名人によるカウントダウンイベントも行われ、今年は日本プロ野球界で活躍している陽岱鋼選手も参加して2017年の新年

を祝した。



ライトアップされた台北101 (写真提供: 中央社)

Jan.4 「菸害防制法」が改正

衛生福利部国民健康署は「菸害防制法」改正の方針を明らかにした。台湾のメディアによると、従来の法律は、間仕切りで独立している部屋を設ける事等で室内喫煙室が認可していた。しかし今回の法律改正は、これら室内喫煙室に関する規定を全て撤廃し、電子たばこも含め、バー、ナイトクラブ、

シガーバーも全面的に室内禁煙とした。さらに公共の場所で電子たばこの喫煙、18歳未満の青少年への販売も禁止すると発表した。違反者は罰則として最大1万円(日本円およそ3万6000円)の罰金が課せられる(元=ニュー台湾ドル)。

Jan.6 「航空会社安全ランキング」エバー航空第6位!

毎年世界900社以上の航空会社を対象に実施されている航空会社安全ランキング6位にエバー航空が選ばれた。同調査は、ドイツの調査機関JACDECによるもので、この10年間大きな事故の有無、過去30年間の事故件数に基づいて調査され、上位60社が公表されたもの。エバー航空は同ランキングにおいて2003年以降、毎年上位10位にランクインしており、また昨年には、機内食がおいしい航空会社ランキングベスト10では8位、世界の航空会社ベスト10では9位に選

ばれる等、今世界で注目を集めている。

RANK	AIRLINE	COUNTRY	INCIDENTS	CRASHES	DEATHS
1	Cathay Pacific Airways	HK, CN, TW	0	0	0
2	Air New Zealand	NZ, ANZ	0	0	0
3	Hawaiian Airlines	HI, CN, TW	0	0	0
4	Qatar Airways	QR, CN, TW	0	0	0
5	KLM	NL, KLM	0	0	0
6	EVA Air	BR, EVA	0	0	0
7	Emirates	AE, UAE	0	0	0
8	Etihad Airways	AE, UAE	0	0	0
9	QANTAS	GF, GFA	0	0	0
10	Japan Airlines	AL, JAL	0	0	0
11	All Nippon Airways	NH, ANA	0	0	0
12	Lufthansa	LH, DLH	0	0	0

航空会社安全ランキング・エバー航空第6位(写真提供: 中央社)

Jan.8 「自由時報」呉阿明会長死去

台湾国内の新聞社「自由時報」の呉阿明会長が自宅で死去した。享年92歳。呉会長の意向により告別式は行われず、11日に火葬のみ行われた。呉会長は、日本統治時代に台湾の農家に生まれ、27歳より地方議員を経て自由時報の会長となり、「国の事はどんな事より一番大事」という信念で36年間務めた。また、知日派としても知られ、台湾での日本理解に貢献したとして、昨春秋に「旭日重光章」を受章している。80歳を過ぎた頃より咽頭癌、肺癌を患ったが、抗がん剤治療に成功し、最

期は老衰だった。



呉会長死去(92)(写真提供: 中央社)

Jan.10 華航と日航、全便コードシェアでサービス向上へ

チャイナエアライン(以下: 華航)と日本航空(以下: 日航)は旅客と貨物分野において提携強化に関するMOU締結した。同締結は、全便コードシェア便にする事で、双方のサービス拡大、産業競争力強化、日台間旅行の便利化、良質サービス提供を目的としたもの。華航と日航は元々2010年10月より羽田〜台北線で既に毎週28便コードシェアを開始しているが、今回の締結により毎週240便に増加予定。華航側は、日本旅行が好きな台湾人が多いため、日航と手を組んで全便コードシェアを実施することで、双方の優れた部分を積極的に取り入れ、市場シェアを高めていきたいとコメントした。なお、全便コードシェアは、提携強化

施策の第一弾として2月下旬より実施する予定。



華航と日航 MOU 締結 (写真提供: 中央社)

Jan.11 「原発ゼロ」、電気事業法改正案可決

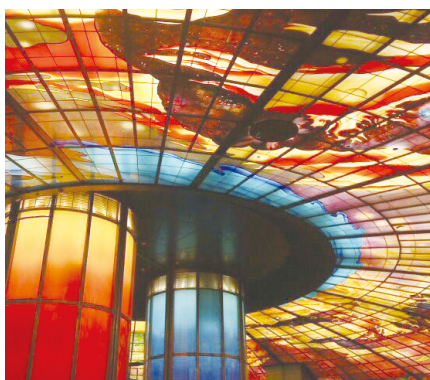
台湾の立法院は2025年に原発を完全に廃止する電気事業法の改正案を可決した。今回の法改正で、太陽光や風力などの再生エネルギーの割合を20%と、市場の潜在能力をさらに高めるつもり。これは「2025年原発ゼロ」を公約に総統勝利した民進党の蔡總統の政策であり、東京電力福島第一原発事故後、脱原発停止を明記した

のはアジア初である。しかし反対意見も多く、原発の穴を火力発電や天然ガスで補うとしたら、発電コスト増加は間違いなく、廃止後、もし政府の考えているエネルギー政策が失敗した時、電力供給は安定せず、電気料金が膨大になるのではないか等、心配の声も上がっている。

Jan.13 高雄KRT開業以来初の黒字

高雄捷運(KRT)の郝(カク)建生董事長は、旧暦の忘年会で、2016年の決算が約7400万円(約2億7000万円)の黒字だったと正式に発表した。黒字化は2008年の開業以来初。KRTで利用できるプリペイド式ICカードの種類が増えた事、大型ショッピングモールの大魯閣草衙道購物中心(タロコパーク)が開設した事などが黒字の要因とみられる。同社によると、KRTの輸送客数は、開業当時一日当たり11万人が平均だったが、2016年には17万2000人にも達し、2017年の目標は輸送客数を18万人以上に増やす方針(元=

ニュー台湾ドル)。



高雄 KRT の美麗島駅

Jan.13 旧正月旅行先トップ10、日本6都市ランクイン

台湾の旅行会社イーゾートラベル(易遊網)は、ツアー商品販売数統計に基づき、今年の旧正月旅行先トップ10を発表した。このなかで日本は一位の東京を初め、6都市がランクインした。日本以外では香港、韓国ソウル等がランクイン。イーゾートラベルによると、今年の旧正月は例年と比較して短く、

多くの台湾人は近場の国に旅行する傾向にあるとコメント。また、最近ではショッピングやテーマパークに行くだけではなく、現在台湾でも爆発的人気の映画「君の名は。」の舞台の聖地巡り等豊富な経験ができるツアーに人気がある。

Jan.15 蔡總統、中米4カ国訪問

蔡英文總統は7日から15日まで、台湾と正式な外交関係を持つホンジュラスやニカラグアなど中南米4カ国を訪問した。「英捷プロジェクト」と名付けられた外遊を目的とし、国交樹立国との「互助互惠」、「Win-Win創出」の協力関係を促進するため、各国の大統領と首脳会談を行った。また、中南米に向かう際、アメリカを経由してテキサス州ヒューストンに立ち寄り、共和党のクルーズ上院議員ら多くの共和党関係者や、同じく共和党アボット知事と米台の経済協力や軍事関係について協議した。一部の報道によると、この蔡總統の共和党接触について、中国大陸が反発の意を示したという。



ホンジュラスに到着した蔡總統 (写真提供: 中央社)

Jan.18 台北市内観光2階建てバス誕生

台北市で2階建ての観光バスの運行が開始された。バスの外観は一際目立つ赤色を基調とした塗色で、二階はオープントップとなっている。現在8台のバスが常備され、40分に1台の頻度でレッドラインとブルーラインの二路線を運行している。レッドラインは台北101、国府記念館等、ブルーラインは士林夜市や故宮博物館等の観光地を巡回する。台北市の柯市長によると、車内のアナウンスは日本語、英語を含めた4カ国語に対応し、今後も国内国外の観光産業に力を入れていく方針としている。なお運賃は4時間内乗り

放題で300元(日本円約11000円)となっている(元=ニュー台湾ドル)。



台北に2階建て観光バス登場 (写真提供: 中央社)

Jan.18 集集駅リニューアル!

921大震災復興後10数年余りが経ち、被災地の集集駅の改修工事が終了し、リニューアルに伴う記念式典が行われた。集集鎮役場によると、これまで利用者の安全面で影響が出ていたため、交通部観光局から補助を受けてホームやトイレ、駅周辺等の改修工事を行ったもの。ホーム及び駅前廣場には台湾交通部観光局の「喔熊(オーション)」や、シーフー(山猫)車掌等のマスコットキャラクター像を設置して、集客にも力を入れている。今後は太陽光発電による充電ステーションとコインロッカーを新たに設置し、観光客のニー

ズに配慮するための環境作りも目指す。



新たに増設した「シーフー(山猫)車掌」(写真提供: 中央社)

Jan.19 復興航空運航枠の移管先が決まる

解散したトランスアジア航空が持っていた中台直行便27路線の運航枠再分配について、交通部民用航空局は、航空会社6社への移管が完了したと発表した。一番人気は上海路線で、松山(台北)ー虹橋(上海)2路線をマンダリン航空、松山(台北)ー浦東(上海)、3路線をエバー航空が獲得した。国内路線、

中国大陆路線含めた各社の合計路線数は、エバー航空が4路線毎週8便、ユニー航空が2路線毎週7便、チャイナエアラインが4路線7便、マンダリン航空が3路線毎週5便、タイガーエアが2路線毎週4便、そして、ファースタン航空が最多の9路線毎週21便をそれぞれ引き継ぐ。

Jan.21 蔡總統、トランプ新大統領就任に祝福のメッセージ

蔡總統はトランプ大統領の就任した際にツイッターで祝福のメッセージを送った。そのなかで、「台湾とアメリカのさらなる友好関係とパートナー深化に期待」とコメントした。また台湾總統府は、アメリカは国際上最も重要な盟友で、自由と民主主義、人権という価値を共有しているとし、政治、経済、安全及び文化等の面での双方の緊密な

協力が、アジア太平洋の平和、安定、繁栄に積極的に貢献してきた、と蔡總統の声明を同日発表した。さらに蔡總統は、トランプ政権の下、すでに築き上げている台湾とアメリカの良好関係をさらに発展、協力する事を期待し、両国の国際社会にさらなるメリットをもたらしていきたいと述べた。

Jan.23 台中市、空港シャトルバス路線導入

台中国際空港外交交通の利便性追求のため、台中市政府は「空港シャトルバス」の3つの路線案を発表。そのなかの「国美館ー台中国際空港」を結んだ路線が正式に運行を開始した。バスは電気を使用したクリーンエネルギーによる動力源のため環境に優しく、さらに安全なシステムを採用した。路線は主要ホテルなどを経由し、中部の住民に加え、日韓など外国人観光客の利用を想定している。今後は、「台中駅ー台中国際空港線」、「逢甲夜市ー台中国際空港線」と残りの二路線も取り入れていく予定。なお、現在運行を開始し

ている路線の利用には3日前の事前予約が必要で、運賃は一律100元(約3600円)。(元=ニュー台湾ドル)。



台中市空港シャトルバス運行開始 (写真提供: 中央社)

Jan.23 「日月潭」世界で最も美しいサイクリングロードのひとつに!

台湾中部の観光地として有名な「日月潭」が、旅行検索サイト「Skyscanner」が発表する、世界の最も美しい8大サイクリングロードのひとつに選ばれた事がわかった。日月潭は全長33キロメートルあり、自然な風景、景色に恵まれ、朝日と夕陽が綺麗に見える名所として、近年では人気なサイクリングロードとなっている。南投県観光処の王源鍾処長は、「日月潭は台湾各地の風景の中で世界的にも知名度が高く、絶景の名所として知られている。今後も、台湾ツアーバス導入、新幹線セット販売等を実施し、旅行客

が更に便利に日月潭に来てもらえるよう力を入れていきたい」と発表した。



日月潭のサイクリングロード (提供: 観光局)

簡単に効率のよい経理を支援します



大塚会計事務所

起業された方や、J-SaaS(サーズ)やパソコンで会計を始めるという方へ、毎日の経理処理や経理作業を簡単に効率よく進められるやり方をご支援いたします。

お気軽にご相談下さい

〒171-0022
東京都豊島区南池袋2-12-1
佐伯池袋ビル306

TEL: 03-3985-5730
FAX: 03-3985-5731

★山手線新大久保駅2分 ★総武線大久保駅1分

嘉南旅行社

東京都知事登録旅行業第3-4417号(社) 全国旅行業協会正会員

台北 ¥27,000(税別) 北京 ¥30,000(税別) 上海 ¥35,000(税別)
大連 ¥32,000(税別) 韓国 ¥27,000(税別) 越南 ¥32,000(税別)
香港 ¥30,000(税別) 曼谷 ¥32,000(税別) 新加坡 ¥32,000(税別)

●代辦中國、東南亞諸國簽證 ●世界各地便宜機票、酒店及團體旅遊
●來日團體的酒店、派車、導遊 ●電腦訂位、迅速、確實

※銀行匯款口座
精通國、臺、日語服務親切

三菱東京UFJ銀行練馬駅前支店
(番) 3678888 (名義) 嘉南觀光(株)
營業時間: 週一〜五 9:30〜18:30・週六 9:30〜13:00
TEL: 03-3366-3988 FAX: 03-3366-2989
地址: 〒169-0073新宿区百人町2-20-1第二岡田屋ビル401

大鑫産業株式会社

広めよう未来につながる
リサイクル社会

大鑫産業株式会社は、不用品や廃棄物のリサイクルを専門とする会社です。



◎電子部品、パソコン関係などの在庫処分にお困りの方は、DAIKINにご相談ください。
◎生基板、トナーカートリッジを買取、リサイクルいたします。

DAIKIN

TEL 0297-30-3308(代表) FAX 0297-30-3309
本社: 〒306-0515茨城県坂東市沓掛6464 http://daikin34.com/index.html



ポスターの前で記念撮影する一青妙さん(左)・白羽弥仁監督(右)

「私の箱子」と「ママ、ごはんまだ?」を原作とした映画「ママ、ごはんまだ?」の特別試写会が1月25日、台湾文化センターで行われた。同原作は、台湾人の父と日本人の母を持つ一青妙さんが、母の愛、家族との絆を描いたエッセイであり、実在するエピソードを基に制作したのが今回の映画である。同試写会後は、一青妙さんと同作品監督の白羽弥仁さんが登場し、舞台挨拶を行ったほか、観客に質問を問いかけて拳手制を取り入れたり、質問タイムを設けるなど、ファンと交流も図り、最後にはサイン会も行われた。

「ママ、ごはんまだ?」の特別試写会開催 ～一青妙さん、裏エピソード披露～

一青さんは、自分の作品が映画化された事に対し、「エッセイって断片的だし、これが一つの作品になるとは夢にも思わなかった。白羽監督に脚本を書いて頂いて、あのエッセイがこういうストーリーに出来上がるのかと逆に感動した。」と語った。これに対し白羽監督は、「実は、色々試行錯誤はあったけど、断片的なエピソードを繋げ時系列を入れ替える事で、ストーリーに緊張感を持たせればいけるのではないか」という気持ちで脚本を書いたと告白した。また、一青さんは同映画タイトルにも触れ、誰もが一度は、「ママ、ごはんまだ?」と叫んだ事があると思うし、ストレートで伝わりやすい、と話した。なお、今回一青妙さん役を演じたのは木南晴夏さんだったが、一青さんは、木南さんの淡々としたセ

リフと感情をあまり表に出さない演技を見て、「何で私の性格をそんなに知ってるの!」と大絶賛。他のキャスティングについても、父が剥けてない事以外はぴったりだったと発言し、会場が笑いの渦に巻き込まれた。白羽監督は、料理をメインにストーリーを組み立て撮影したと話し、また会場に来ていた観客も観覧後は、「この映画を見ていたらお腹が空いちゃう!」とコメントする程、終始美味しそうな台湾料理を目で楽しめる内容だった。一青さんも台湾を一番最初に好きになるきっかけは食べ物だと思うと話し、両者は日本のおいしい台湾料理屋についても語り合った。同映画は、一青さんの母が台湾に嫁ぎ、新しい環境や親族に溶け込むために習得した「台湾料理」のレシピ帳が、昔の家から見

つかった事で始まるストーリーで、「料理で繋がる家族の絆」がテーマである。同映画の主題歌は、一青さんの妹で歌手の一青窈さんが担当した。そして、一青妙さん本人も、脇役として出演しているのも見どころの一つ。2月11日より一般公開され、今年5月には、台湾で母の日に合わせて中国語字幕付きでの公開が予定されている。

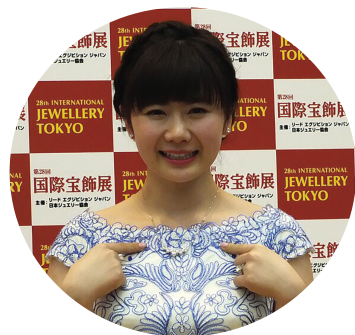


ファンとの交流を図る一青さん

福原愛選手、受賞式典で新婚生活語る

台湾卓球男子の江宏傑選手と先に入籍したりオ五輪代表で卓球女子団体銅メダリストの福原愛選手は1月24日、「第28回日本ジュエリーベストドレッサー賞」の特別賞女性部門を受賞し、東京ビックサイトで行われた表彰式に夫婦そろって出席した。福原選手は、昨年9月に台湾で行われた結婚会見で着用したドレスを手掛けたタダシショージさんデザインの衣装を身に付け登壇した。表彰式後の記者会見で夫の江選手との新婚生活を聞かれ、「毎日楽しく過ごし、今日の朝食は冬の野菜が入ったうどんを作った」と幸せそうな笑みを浮か

べながら質問に答えた。なお、表彰式前に江選手は福原選手に付き添い「国際宝飾展(日本最大のジュエリーの展示会)」を観覧し、台湾メディアの取材にも応じていた。福原、江夫妻は今年2月上旬、東京ディズニーランドにて式を挙げるとしている。福原選手は表彰スピーチで、「ジュエリーは私にとってお守りのようなものです。競技中もジュエリーをつけています。それには理由があり、ある方からダイヤモンドは硬いものでできていると聞いたからです。それからは、緊張して胸がつぶれそうな時、合宿や遠征で疲れて心が折れそうな時、イ



副賞のジュエリーを披露

メージトレーニングの一環として、『私の心はダイヤモンドでできているから絶対に割れない』と思い込み、色々な場面を立ち向かう事ができました」とコメントした。日本ジュエリーベストドレッサー賞は、過去1年間を通じて「最も輝いていた人」「最もジュエリーが似合う人」そして、「今後もさらにジュエリーを身に付けて欲しい人」を世代別、男性部門のそれぞれに分けて審査し与えられる章典。



トロフィーを受け取る福原選手

第28回日本ジュエリーベストドレッサー受賞者

台湾ベジタリアンお正月料理教室 ～身体に良い台湾料理を～

2014年の12月に行われた台湾最大の素食コンテスト「菩提心厨奨」で優勝した古内裕子(劉 毓真)先生は2016年12月20日、サロン・ド・安閑園で台湾のお正月点心料理・台湾オリエンタルベジタリアン料理教室を開催した。

古内先生は、マクロビオティック(以下:マクロビ)の考えを取り入れた素食料理を提案しており、現在は台湾や日本で料理教室などを開催し、日台でマクロビ料理を広めている。当日のレシピも、肉を使わず、大豆ミートやおからコンニャクなどを使用した野菜



古内裕子先生

小籠包や豆腐シュウマイ、焼き餃子、漢方を使った身体に優しいスープ、ジャスミン茶の寒天ゼリーなど、身体の事を考え抜かれた独自のメニューだった。また、使う油や食品は、全て無農薬栽培などで作られた添加物の含まれていないもの。点心は皮から作る徹底ぶりだ。参加者も、「良いものを使って作る台湾料理は尚更美味しく感じます。今度は娘も連れて来たい」や、「お料理教室では料理だけでなく、身体に良い料理とはなん

なのかのレクチャーも行っていたので嬉しい。マクロビへの知識の深さにも感心してしまいます」と、古内先生のマクロビへの熱意に驚きの様子だった。

日台にマクロビオティックを伝えたい!

古内先生がマクロビに興味をもったきっかけは何なのだろう。以前、21年間に渡って日本でお惣菜屋さんを営んでいた古内さんは、15年前に病気を患い、体力が持たなくなり、気付いた時には低体温症になっていた。その後サプリメントなども試したが、「これは何か違う」と感じていた時に、マクロビに出会い、衝撃を受けたという。マクロビについては、最初に本を読むなどして知識を深め、本に書いてあった3～10日の身体を整えるプログラムを忠実に行うと、見事に回復。そこから早速自分のお店にもマクロビのメニューを追加したという。その後もあらゆるマクロビの本を読み漁り独学したが、2年前に資格を取得し、現在日本と台湾、特にまだマクロビについて知識の薄い台湾へマクロビの素晴らしさを精力的に伝えている。「台湾には素食が普及していますが、マクロビと素食はまた違う観点からのもの。同じ素食でも、自分の身体にもっと優しく、健康になれるのがマクロビ。私は台湾の素食にマクロビを取り入れて独自でレシピを開発しています。今後も日本と台湾を行き来しつつ、マクロビの素晴らしさを伝えていきたい」と、持論を展開した。

台湾のオリエンタルベジタリアンお正月点心料理

豆腐シュウマイ



【材料】

皮:シュウマイの皮 1袋

具材:木綿豆腐 1丁・大豆ミード 40g・干し椎茸 2個・いんげん・にんじん

調味料:天然塩・素力キ油・ごま油・胡椒 適量・キビ糖・玄米粉

タレ:和からし 適量・醤油 適量

【作り方】

① 具材のいんげんとにんじんをみじん切りにして、木綿豆腐、畑の肉、①の干し椎茸、調味料を混ぜ合わせる。

② シュウマイの皮は②の具材を包み、沸騰した蒸し器で5分。

【材料】4人分

A:ジャスミン茶・お湯
B:寒天アガー・水
C:豆乳・葛粉・米飴

【作り方】

① A ジャスミン茶はお湯を注ぎ入れて20分置く。

② B 寒天アガーは水に入れてよく溶かし、火にかける。軽く沸騰したら、火を止め、①のジャスミン茶を加えて冷やす。

③ 豆乳クリームを作る。葛粉を分量外の水で溶かして豆乳と米飴を加えて火にかける。とろみが付いたら火を止め冷ます。

④ ②のお茶の寒天ゼリーを2cm角カット、器に盛り付け、③の豆乳クリームを大さじ3かける。



お茶の寒天ゼリーに豆乳クリーム

身体に優しい漢方のスープ 「帰参山薬湯」



【材料】

A:当帰・党参・クコの実 適量・水
B:長芋(自然薯)・にんじん・エリンギ・干し椎茸
C:小松菜

調味料:天然塩 適量

【作り方】

① Aの薬湯を煎じる。鍋に1600ccの水に当帰と党参を入れて、沸騰したら弱火で30～40分。

② Bの材料は一口大に切り、クコの実、干し椎茸の出し、①の薬湯に加えて更に食材は柔らかくなるまで弱火で煮る。味付けは天然塩、やや薄めの方が良い。

③ お椀に②と小松菜を入れて盛り付けする。

(提供:古内裕子先生)

【材料】

皮:全粒粉 250g・天然塩 1つまみ・ごま油 大さじ1・水150g

だし寒天ゼリー:だし・寒天

具材:車麩・大豆ミード・いんげん・にんじん・干し椎茸

調味料:醤油・天然塩・生姜汁・キビ糖・ごま油

タレ:醤油・有機米酢・キビ糖・生姜千切り 適量

【作り方】

① だしに寒天を溶かして火にかける。沸騰したら火を止め、バットに移して、冷ましたら冷蔵庫に移し固める。

② 皮の材料をこね合わせて、ボールに入れてラップをかけ、暖かい場所で30分寝かせる。

③ 具材のいんげんとにんじんはみじん切りにして、車麩、大豆ミードと調味料を加えて混ぜ合わせる。

④ ①の寒天ゼリーを5mm角切りにして③と混ぜ合わせる。

⑤ ②の生地を更に捏ね、直径2cmの棒状にのばして、3cmの長さに切り分ける。麺棒で直径7cm中心やや厚めにのばす。

⑥ ④の具材を包んで、蒸籠に輪切りのにんじんを並べ、その上に包んだ小籠包を置き、沸騰した蒸籠に火を弱にして、中小火に6分蒸す。(注意:強火にしないこと)

⑦ タレを合わせて、器にうつす。



旨味汁溢れる野菜小籠包

台湾人百人百色



サヨンヤウイさん

蘇澳駅から花蓮港へ南に下る臨海道路の途中の南澳溪河口から30キロ、山の中に入るとリヨヘン村がある。この村は莎韻(サヨン)で戦前戦中派には有名だ。

太平洋戦争最中の昭和18年には李香蘭主演で「サヨンの鐘」という映画が製作され大ヒット。西条八十作詞、古賀政男作曲で渡辺はま子の歌う「サヨンの鐘」もレコードになった。画家はサヨンを描き脚本家は舞台を俳人は賛歌をよみ、紙芝居や浪曲にもなった。

サヨンはリヨヘン村にいた10代の少女だった。当時、リヨヘン村は60戸、人口は342人、産業は芋麻、養蚕、粟、甘藷、米を常食とする自給自足の村。そこは原住民タイアル族の村(蕃社)だった。日本は台湾統治にあたり原住民対策に警察官を配置する。

昭和12年の末、滝田という28歳の青年がリヨヘン駐在所に着任。同時に教育担当として青年を指導し慕われた。村の娘サヨンも

その1人だった。

昭和13年9月に召集令状が滝田にきて、山を下ることになる。山下の前日、天候が荒れ暴風雨に。青年たちが相談し20歳前後のサヨンら5人の娘たちが滝田を送って行くことになった。

蕃社では荷物運びの仕事をするのは女性の分担になっていた。(1人の男性の青年団班長が同行する)。

サヨンたちが先に出発し、途中で滝田を待つが滝田は来ない。雨風が強くなり、皆んなは引き返そうと言うがサヨンは山を下ると言う。滝田は嵐になったので途中の駐在所に泊まっていたのだ。

川にかかる丸木橋を渡る時、地下足袋を脱いだ。丸太にはすべらないように山刃で傷がつけられていたがサヨンは足をすべらせた。濁流にのまれサヨンの姿は見つからず、浮き上がって来た荷物の上にはハニクイ(皮の雨具)があった。天候は依然として悪かった。

南澳社とリヨヘン村の人々は50日間にわたり川を搜索するがサヨンの兄が駐在所に搜索中止を申し出、打ち切られた。

昭和14年1月、台北州知事が蕃社巡視の時にサヨンの墓に詣で「碑」を建て昭和16年2月には台北市公会堂で高砂族青年団の皇軍慰問学芸団がサヨンの悲劇を歌いあげ

た。長谷川総督は感激し「サヨンの鐘」を作ると提案。時は大陸での日中戦争は長期化し、米英との開戦へと進んでいた。「愛国少女」サヨンは殉国美談とされ空前のブームとなっていく。そのピーク時に製作されたのが、戦争も負け戦となった昭和18年の映画「サヨンの鐘」で台湾総督府、満洲映画協会、松竹が製作した。(但、ロケはリヨヘン村ではなく霧社である)。

山にあるリヨヘン村を下った山峡の南澳郷金岳村に行き、サヨンの姪のサヨンヤウイさんに会った。取材で訪れたのは2014年春、6年間日本語教育を受けたという。昭和5年8月15日生まれで85歳。サヨンの7つ下にあたる。日本名は「中平広子」。近々招かれて「サヨンの踊り」を踊りに行くという。「子どもの頃の2年生の時に踊りに行った時、日本人もいた。……日本の娘たちは自分たちの衣装でとても綺麗。着物着てる。子どももいたよ」と彼女は思い出を語った。そして日本語で「サヨンの鐘」を歌ってくれた。

「嵐吹きまく 峯ふもと 流れ危うき 丸木橋渡るは誰ぞ うるわし乙女 紅きくちびる ああサヨン——」

そして、村の女性全員でできるという機織りを披露してくれた。

今年1月に再び金岳村を訪れサヨンヤウイさんと会った。1936年生まれの豊添財さん(サヨンの兄の子ども)も一緒だった。彼女はまた「サヨンの歌」を聞かせてくれた。「サヨンの踊りは？」とたずねると「足が痛い」のでもうダメらしい。でも87歳になったサヨンヤウイさんは元気である。サヨンのことを「きれいな娘で、結婚もしていなかった……」と哀しい表情になった。この時は、織ったテーブルクロスをプレゼントしてくれました。

第二十六回

「サヨンの姪」

文：林 雅行(映画監督)

More!More!台湾♡

(文：You Li Xiang)

お手頃鉄板焼き「大埔鐵板焼」

台湾留学をしているとき、台湾人のお友達が「ごはんをご馳走しますよ」といってくれて、3人で夜ご飯に行く事に。何を食べるかは聞かされず、楽しみにして待ち合わせ場所にいくと、お友達は、「対面式の鉄板焼きに行きます」と一言。しかし、当日の私の服装はTシャツに短パン…。日本人の私は、対面式の鉄板焼きを食べに行くに聞くとなんだか高級なレストランのイメージがあったので、「えっ、私こんな服装で大丈夫？」と聞くと台湾のお友達は不思議そうに「なんでだめなの？行くよ～」と私をバイクに乗せて走り出しました。

お店についてみて、友達がなぜ不思議な顔をしたかすぐわかりました。そこは私が想像していた高級鉄板焼き屋さんではなく、台湾人が一般によく利用するチェーン店の鉄板焼き屋さん「大埔鐵板焼」だったのです。確

かにカウンター式の座席に対面式で目の前には何人かの料理人さんが居て、注文後目の前で焼いてくれるのですが、雰囲気は大衆的で居心地の良い感じ。しかもお値段もリーズナブルで、スープとお茶が飲み放題。ご飯が10元(約30円)、豚肉や牛肉などの肉類や、魚やエビなどの魚介類は大体130元(約400円)、定食は1人分と2人分があって、2人分は「肉、魚、エビ、野菜2種類、ご飯」で480元(約1450円)。量的にも申し分なく、おなかいっぱいになります。味がおいしい、しかも安い!これこそ台湾料理の醍醐味ですよね!!小籠包ばかり食べないで、「大埔鐵板焼」にも行って見てくださいね!(笑)



お手頃対面式鉄板焼き



2人分の定食。ボリューム満点!



著：村串栄一
刊：講談社
本体価格：840円
判型：新書判
頁：208ページ
発売日：2016/12/20

台湾で見つけた、日本人が忘れた「日本」

「なぜ、日本は黙って帰ってしまったのか」、「日本に捨てられ、孤児になってしまった」、日本統治時代を経験したお年寄りはこう不満を漏らすという。一方、台湾の教科書にも出てくる大ダム建設という偉業を成し遂げた「八田與一」、警察官として台湾に派遣され、業務の傍ら衛星教育、農業指導をした「森川清治郎」の功績は、今もなお神として崇められている。台湾歴史の中で日本人は一体何をしてきたのか。

本書は、ジャーナリストの村串栄一さんが台湾を一周し、原住民と触れ合いながら台湾の歴史、現状、風物を新しい角度から照射して執筆したものである。村串さんは40年間記者として勤めてきた中日新聞(東京新聞)社を退職後、台湾取材に没頭した。何度も台湾に赴き、実際に見て、現地の人と触れ合い、その実体験から親日台湾の実情を描い

た。中国との関係、人々の生活、IT産業、農漁業、インフラ、伝統文化、日本遺産、原発問題、尖閣問題など多岐にわたって実情を採取し、村串さんの真骨頂であるジャーナリスト目線で台湾をとらえようとした試みが特徴でもある。硬軟織り交ぜたルポルタージュの構成も面白い。

台湾の歴史は複雑で、オランダ、スペイン、明朝、清朝、日本、中華民国と宗主国は数々の遍歴を辿り、外来政権に翻弄されてきた。このため、台湾は長い間自分たちの歴史を持つ事がなかった。民主化路線、自由な時代と言われ久しい昨今だが、世界の多くの国が台湾を未だ国として認めていない。しかし、台湾の人々は今も生き生きとしている。このたくましさは何なのか。本書で確かめてみて欲しい。

読者プレゼント企画

台湾新聞をご覧の皆様の中から抽選で2名様に本書「星空 The Starry Starry Night」をプレゼント致します!応募方法は、ハガキに応募券の切り抜きを貼り付け、お名前、ご住所、お電話番号及び台湾新聞へのご意見ご感想を明記のうえ、台湾新聞編集部までお送りください。当選のご連絡は発送をもって代えさせていただきます(2月中に発送予定)。
締切り：2月20日(消印有効)
台湾新聞社編集部〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4 / tel:03-5917-0045

台湾新聞238号読者プレゼント
応募券

てくてく台湾旅⑭

松田義人(deco / 編集者・ライター)

台湾のお正月大渋滞と、雲海で迎えた新年

台湾でもお正月は高速道路が渋滞する

今年の年末年始は、家族で台湾で過ごしました。子どもが大きくなると、なかなか家族での時間が合わなくなり、よって、家族全員大好きな台湾への旅行も年々減ってきていましたが、「全員ではこれが最後かもしれないから」と家族に強く言い張り、無理矢理スケジュールを組んで向かいました。

家族ですので、やはりレンタカーで台湾各地を巡るのが経済的で、効率も良いのですが、うっかりしていたのが渋滞でした。元旦、東部に住む台湾人の友だちの家を尋ねる予定にしていたのですが、台北から宜蘭までを結ぶ北宜高速公路はガッツリと混み、普段なら1時間弱で抜けられるところが、3時間半もかかってしまいました。やはり、休みとなれば、台湾も帰省や娯楽が多いのだと、ごく当然の事を身をもって知った次第です。

なんとかして東部に着き、お友だちの家で家族総出での新年会に参加させてもらい、僕ら家族はそのまま友だちの家に泊めてもらいました。台湾では中秋の名月もそうですが、目出たい日にはバーベキューをする事が多く、やはり、元旦なのでバーベキュー新年会でした。僕は中文も台湾語も英語も出来ず、厳密には言葉が通じない友だちですが、彼らのおかげで、本当に楽しい新年を迎えることが出来ました。

翌朝は、前号でも書いた太魯閣から埔里へと抜ける8号線+14号線を車で走り、これまで前号でも書いた標高3275メートルの武嶺を経由。台湾の美しい山々を拝みながら、年頭の思いを馳せようと勝手に考えていたのですが、これまでに僕が見た景色とはどうも違いました。アレ!? なんだろう。

お正月に眺める合歓山の雲海

遠くまで雲が美しく山々を囲っているその景色はまさしく雲海。写真では何度か見せてもらった事がありましたが、実際に生で目にする、本当に美しくうっとりしてしまいました。そもそもこの合歓山付近から眺められる雲海は条件があり、「天候が良い日の午後3時〜4時頃」というもの。

さらに季節によって、時間帯は変わる事があるそうなので、よほど台湾の山の風土に詳しくないと、旅行者が決め打ちで拜めるとは限らないそうです。雲海を横目に車で山を越え、やがて下り坂になると、その雲海の中を車が走るような体となり、これまたロマンチックで、まさに新しい年にピッタリな贅沢な時間でした。本当に素晴らしい体験となったし、改めて台湾が持つ自然の美しさを体感しました。

しかし、やはりここでも問題がありました。この山越えコースも、前述の高速道路同様、台湾人の旅行者の車で大混雑。さらに雲海の時間帯でもあって、どの車も景色を見ながらノロノロ運転。結果、我が家族が途中下車をしようと予定していた、清境農場はあえなく飛ばす事になってしまい、家族からはまたブービー言われる事にもなりました。



新年、合歓山付近から眺んだ雲海

Photo de TAIWAN 第二回

台湾在住20年写真家・熊谷俊之

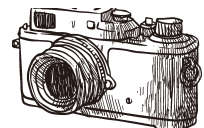
南国の冬景色

南投

日本より低い緯度に位置し南国のイメージが強い台湾ですが、冬の高山地帯は日本と同じく雪が降ります。3275m台湾海拔最高地点の公路「武陵」付近にて撮影。撮影日時：2012年2月



※本年より新たに写真で台湾を伝えるコーナー「Photo de TAIWAN」が始まりました。台湾在住20年の日本人写真家・熊谷さんの写真を通じて、まだ知らない台湾を発見してみてください!



台湾語で もっと臺灣

～交通編～

台湾語：ゴウティ

日本語：高铁
中国語：ガオティエ(高铁)

台湾語：ホイチャ

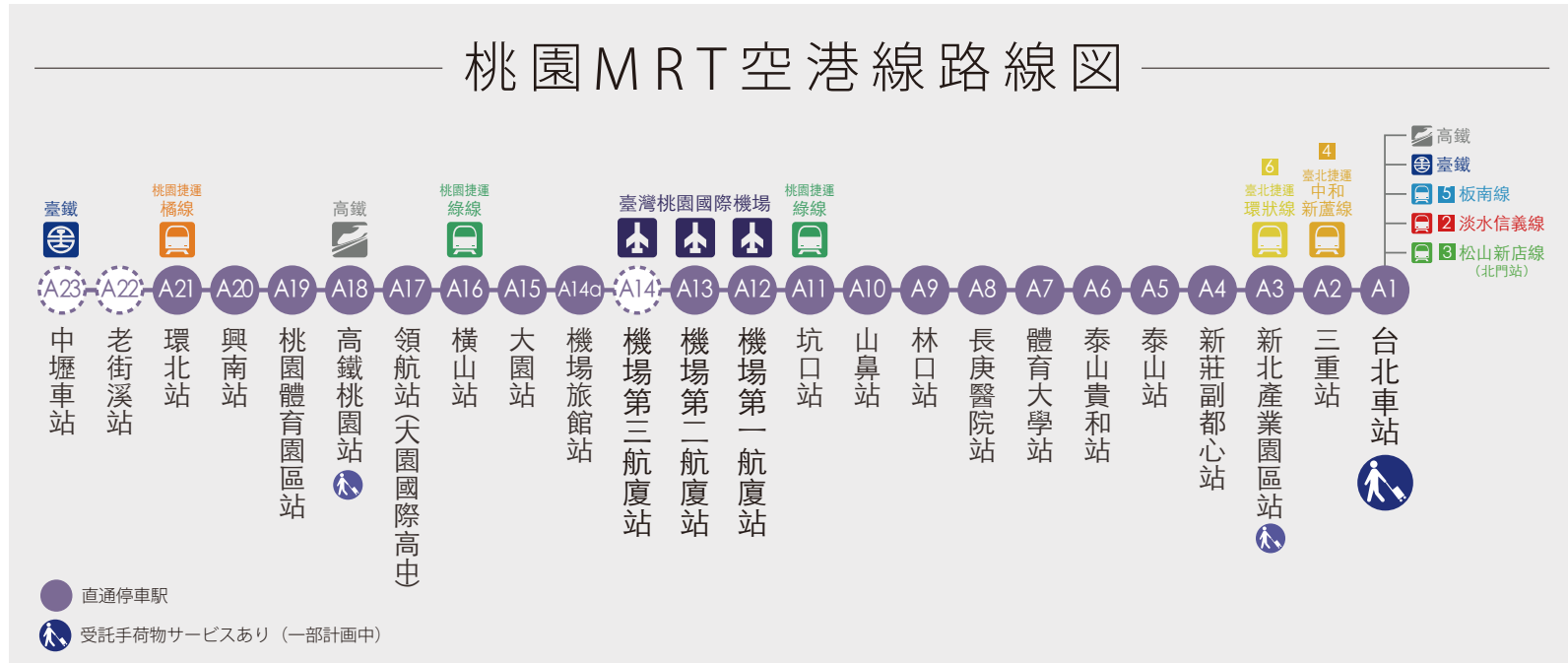
日本語：汽車
中国語：フォチャー(火車)

台湾語：ケーウン

日本語：バス
中国語：クーユン(客運)

※台湾語は地域により様々な言い回しがあります。同コーナーでは一般的に良く使われる台湾語をカタカナで紹介しております。

桃園 MRT 開業！ —台北から桃園空港まで利便性が拡大—



交通部の賀陳旦部長と鄭文燦桃園市長はこのほど、桃園 MRT (メトロ) 空港線を2月2日にプレ開業させると発表した。交通部は1月25日、営業許可を桃園 MRT に出し開業を認可した。賀陳部長は開業について、「桃園メトロに要求していた開業前の改善必須事項がクリアされ、視察委員会による確認も完了した」と説明した。

桃園空港 MRT 公司 (以下：桃園 MRT) によると、3月2日の正式開業までの一か月間は運賃が無料になるという。また正式開業後の運行時間は午前6時から午後11時までとし、開業後1カ月は運賃の半額割引サービスを実施する。

なお、プレ開業期間の2月2日から同15日までは団体予約のみを受け付ける。一般客の利用は同16日から。試乗時間は毎日午前8時から午後4時まで。団体客の乗車は一部の駅でのみ受け付けるが、16日からは全駅が利用可能となり、各駅で利用者数の規制を行い、毎日番号札が配られる予定。

台湾メディアによると、桃園 MRT は昨年末に交通部から検査を受け、8項目に及ぶ

改善事項が提示されていた、と報じ、交通部拘束鉄路工程局によると、桃園 MRT は1月19日に改善処理を終えたものの、一部の同局の検査委員は乗り換えに関する表示の設置が終わっていないと指摘していた。その後桃園 MRT 側が1月20日に表示設置のための撮影作業を行い、手続きを終了した。



営業許可に喜びの笑顔を見せる鄭文燦桃園市長 (右) (提供：中央社)

蔡総統、桃園 MRT 利便性を実感

台湾の蔡英文総統は1月31日、2月2日にプレ開業する桃園 MRT (メトロ) 空港線を視察。台北—高鉄桃園間の試乗を行い、空港線の利便性を実感した。

蔡総統は試乗前、桃園 MRT 台北駅で案内を聞き、事前搭乗手続きエリアを視察した。

その後、実際に試乗。蔡総統は、空港線開業の意義の重要性を、「地域活性化」と「空港の輸送力の大幅な増強」の2点だと説明した上で、「国内外の人々に台湾の濃厚な人情味を感じてもらいたい」と述べた。また、「空港線開業に伴い、台湾の公共交通が新たなマイルストーンに向かっていければ」とし、開業に期待した。



桃園 MRT、2月2日プレ開業 (提供：中央社)



試乗する蔡英文総統 (奥左) と鄭文燦桃園市長 (奥右) (提供：中央社)

WBC 選抜メンバー発表

2017ワールド・ベースボール・クラシック (WBC) 台湾チームの代表28人の選手メンバーが1月23日、発表された。日本球界からは陽岱鋼 (巨人)、陳冠宇 (ロッテ)、郭俊麟 (西武)、宋家豪 (楽天)、羅國華 (高知 FD) の5人が選出された。羅國華は四国アイランドリーグ plus の高知ファイティングドッグスと契約予定。しかしながら、出場予定だった陽岱鋼が、昨年8月に右肋骨を骨折した事もあり、怪我の治療に専念し、シーズンに向けた調整を優先するため、出場を辞退した事が先月25日にわかった。台湾メディアによると、陽岱鋼の代わりに、統一ライオンズの羅國龍がメンバー入りし、1月31日から2月2日まで台湾で合宿後、4日には強化合宿のためオーストラリアに発する予定だ。(1月27日現在)

選抜されたメンバー達

投手 (13人)
潘威倫、王鏡銘、陳韻文 (統一ライオンズ)
陳鴻文 (中信ブラザーズ)
倪福德、黃勝雄、林長樺、蔡明哲 (富邦ガーディアンズ)
陳冠宇 (千葉ロッテ)
宋家豪 (東北楽天ゴールデンイーグルス)
江少慶 (クリーブランド・インディアンズ)
郭俊麟 (西武ライオンズ)
羅國華 (高知ファイティングドッグス)

捕手 (2人)
鄭達鴻 (中信ブラザーズ)
林琨笙 (富邦ガーディアンズ)
内野手 (7人)
陳輔基、林志祥 (統一ライオンズ)
蔣智賢、王勝偉、林智勝、許基宏 (中信ブラザーズ)
林益全 (富邦ガーディアンズ)
外野手 (6人)
張正偉、張志豪 (中信ブラザーズ)
林哲瑄、胡金龍、高國輝 (富邦ガーディアンズ)
羅國龍 (統一ライオンズ)

WBC は2017年3月7日 (火) ~ 22日 (水) で開催!

投資用物件

東日本橋 TYD ビル

東日本橋 徒歩2分
馬喰横山 徒歩3分
浜町 徒歩3分
人形町 徒歩8分

＜販売価格＞
36,000万円
税込み
※満室想定額賃料 / 1,500,943円 (共益費込)

● 所在地 / 中央区東日本橋一丁目3番3号
● 土地権利 / 所有権 ● 地目 / 宅地
● 地積 / 登記簿 94.24㎡ (28.51坪)
● 用途地域 / 商業地域 建ぺい率 80%
容積率 500%
● 構造規模 / 鉄筋コンクリート造建屋根 7階建
● 総戸数 / 7戸 (事務所)
● 延床面積 / 登記簿 453.65㎡ (137.22坪)
● 築年月 / 平成 19年 9月
● その他 / 景観地区、駐車場整備地区、地区計画区域
● 電気 / 東京電力 ● ガス / 都市ガス ● 給水 / 公営水道
● 排水 / 公共下水 ● 現況 / 上物有 ● 引渡 / 約 10.3M

● 空ビル渡し
● 所在 / 中央区銀座一丁目13
● 土地権利 / 所有権
● 地目 / 宅地
● 地積 / 登記簿 72.99㎡ (22.07坪)
● 用途地域 / 商業地域
● 建ぺい率 80% ● 容積率 / 700%
● 構造規模 / 鉄骨造建屋根 8階建
● 用途 / 事務所、店舗、住居
● 延床面積 / 登記簿 452.48㎡ (136.87坪)
● 築年月 / 昭和 47年 12月
● その他 / 高度利用地区、地区計画区域
● 接面道路 / 東側約 11.0M

銀座一丁目

銀座一丁目 徒歩5分
宝町 徒歩5分

＜販売価格＞
70,000万円
税込み
高級な地域
事務所、店舗、住居可能

● 空ビル渡し
● 所在 / 中央区銀座一丁目13
● 土地権利 / 所有権
● 地目 / 宅地
● 地積 / 登記簿 72.99㎡ (22.07坪)
● 用途地域 / 商業地域
● 建ぺい率 80% ● 容積率 / 700%
● 構造規模 / 鉄骨造建屋根 8階建
● 用途 / 事務所、店舗、住居
● 延床面積 / 登記簿 452.48㎡ (136.87坪)
● 築年月 / 昭和 47年 12月
● その他 / 高度利用地区、地区計画区域
● 接面道路 / 東側約 11.0M

ラレープ渋谷<仮称>

渋谷駅 徒歩8分
神泉 徒歩11分

＜販売価格＞
64,800万円
税込み
※満室想定額賃料
月額 3016,440円
年額 36,197,280円

● 固税額 / 年額 1,981,216円 (平成 28年度)
● 想定利回り / 5.59%
● 住所 / 渋谷区円山町15-3
● 土地権利 / 所有権 ● 地目 / 宅地
● 地積 / 登記簿 163.94㎡ (49.59坪)
● 用途地域 / 商業地域 建ぺい率 80%容積率 400%
● 構造規模 / 鉄筋コンクリート造建屋根 地下1階付5階建
● 総戸数 / 5戸 (賃貸)
● 延床面積 / 登記簿 520.68㎡ (157.50坪)
● 築年月 / 昭和 62年 10月
● 接面道路 / 駅前公道約 5.3m
● その他 / 防火地域、駐車場有、エレベーター有、検査済証有

大田区北嶺町

御嶽山駅 徒歩2分

近隣商業地域に存する建築条件無売地。
＜販売価格＞
14,000万円
税込み
南道路のため、
陽当たり良好。

● 所在 / 大田区北嶺町 ● 土地権利 / 所有権
● 土地権利 / (公簿) 182.28㎡ (約 55.44坪)
● 地目 / 宅地 ● 用途地域 / 幅員 / 南側 公道 幅員約 3.8m
● 用途地域 / 近隣商業地域 ● 建ぺい率 / 80% ● 容積率 / 300%
● 高度地区 / 第3種高度地区 ● 地区計画 / 景観地区
● 電気 / 東京電力 ● ガス / 都市ガス ● 給水 / 公営水道
● 排水 / 公共下水 ● 現況 / 上物有 ● 引渡 / 相談
(築年不詳、水産センター瓦葺2階建、延床：89.66㎡)

港区元麻布三丁目

六本木駅 徒歩8分
麻布十番駅 徒歩11分

＜販売価格＞
21,500万円
税込み
閑静な邸宅地
南西・北西角地
採光・通風良好
六本木ヒルズ
徒歩約5分

● 所在 / 港区元麻布三丁目
● 土地権利 / 所有権 ● 地目 / 宅地
● 土地面積 / (実測) 95.07㎡ (約 28.76坪) ● 排水 / 公共下水 ● 現況 / 上物有
● 道路 / 南側 公道 幅員約 4.0m ● 引渡 / 相談 ● 現在測量中につき、実際の
● 北側 幅員 約 4.0m 道路と若干異なる事があります。
● 用途地域 / 第一種中高層住居専用地域 (仮測量値を表示しています。)
● 建ぺい率 / 80% ● 容積率 / 300% ● 古家あり ● 鉄道持分あり (2,822/37,858)
● 高度地区 / 第2種高度地区 (22ha)

中銀第二城北パークマンション 206号室

六本木駅 徒歩8分
麻布十番駅 徒歩16分

＜販売価格＞
2,890万円
税込み
アフターサービス保証

● 所在 / 板橋区坂下3-5-17 ● 構造・階数 / 鉄骨鉄筋コンクリート造
● バルコニー面積 / 6.90㎡ ● 築年月 / 昭和 59年 10月
● 現況 / 空室 ● 引渡日 / 即可 ● 用途地域 / 準工業地域
● 総戸数 / 104戸 ● バルコニー方位 / 南 ● 管理費 / 6,900円
● 修繕積立金 / 10,740円 ● 土地権利 / 所有権
● 管理会社 / 中銀(インテグレーション) (株)
● 管理形態 / 全部委託 ● 駐車場 / 敷地内 (月額 25,000円)
● 駐輪場 / 敷地内 (1台目無料、2台目月額 500円)
● 月額 / 月額 1,000円 ● イキ置場 / 敷地内 (月額 1,500円)
● ペット飼育 / 不可 ● 備考 / 水道基本料 (月額 1,000円)
● ペット飼育 / 不可 ● 備考 / 水道基本料 (月額 1,000円)

タカシマ志村マンション 903号室

志村三丁目駅 徒歩6分
志村坂上駅 徒歩9分

＜販売価格＞
2,590万円
税込み
アフターサービス保証

● 所在 / 板橋区志村3-1-11
● 構造・階数 / 鉄骨鉄筋コンクリート造 13階建 9階部分
● 専有面積 / 55.52㎡ (約 16.79坪) ● バルコニー面積 / 7.70㎡
● 築年月 / 昭和 49年 1月 ● 現況 / 空室 ● 引渡日 / 即可
● 用途地域 / 近隣商業地域 ● 総戸数 / 84戸
● バルコニー方位 / 南 ● 管理費 / 9,780円
● 修繕積立金 / 14,500円 ● 土地権利 / 所有権
● 管理会社 / 住友不動産建物サービス (株) ● 管理形態
● 駐車場 / 敷地内 (大人用：月額 500円、子供用：月額 200円) ● バイク置場 / 敷地内 (月額 1,000円) ● 学区 / 志村小学校、志村第四中学校
● 備考 / トランクルーム (分譲処分不可) 月額 1,000円
● ペット飼育 / 他/他の居住者に迷惑及び危害を及ぼす恐れのある動物不可 (犬・猫不可)

秀和蓮根レジデンス 802号室

蓮根駅 徒歩4分

＜販売価格＞
2,590万円
税込み
アフターサービス保証

● 所在 / 板橋区坂下3-9-13 ● 構造・階数 / 鉄骨鉄筋コンクリート造
● 11階建 8階部分 ● 専有面積 / 53.76㎡ (約 16.26坪) ● バルコニー面積 / 6.10㎡
● 築年月 / 昭和 56年 2月 ● 現況 / 空室
● 引渡日 / 即可 ● 用途地域 / 準工業地域
● 総戸数 / 195戸 ● バルコニー方位 / 南 ● 管理費 / 8,100円 ● 修繕積立金 / 6,500円
● 土地権利 / 所有権 ● 管理会社 / 日本ハウズイング (株) ● 管理形態 / 全部委託
● 駐車場 / 敷地内 (月額 17,000円)
● 駐輪場 / 敷地内 (月額 2,000円)
● バイク置場 / 敷地内 (月額 3,000円) ● ペット飼育 / 小高・縦置きのみ可
● 学区 / 蓮根小学校、志村第三中学校 ● 備考 / 管理協力金 (月額 2,000円)

クオリティ大山マンション 501号室

大山駅 徒歩8分

＜販売価格＞
2,990万円
税込み
アフターサービス保証

● 所在 / 板橋区大山井町11-8
● 構造・階数 / 鉄骨鉄筋コンクリート造
● 10階建 8階部分 ● 専有面積 / 51.52㎡ (約 15.58坪) ● バルコニー面積 / 6.14㎡
● 築年月 / 昭和 55年 10月 ● 現況 / 空室
● 引渡日 / 即可 ● 用途地域 / 商業地域
● 総戸数 / 40戸 ● バルコニー方位 / 西・北
● 管理費 / 10,480円 ● 修繕積立金 / 17,160円
● 土地権利 / 所有権 ● 管理方式 / 自主管理
● 駐車場 / 敷地内 (月額 1,500円)
● バイク置場 / 敷地内 (月額 3,000円)
● ペット飼育 / 不可 ● 学区 / 板橋第七小学校、

シャトー赤坂 207号室

赤坂駅 徒歩4分
溜池山王駅 徒歩10分

＜販売価格＞
2,790万円
税込み
アフターサービス保証

● 所在 / 港区赤坂6-5-21 ● 構造・階数 / 鉄筋コンクリート造地下1階付8階建 2階部分
● 専有面積 / 35.32㎡ (約 10.68坪)
● バルコニー面積 / 2.70㎡
● 築年月 / 昭和 44年 4月 ● 現況 / 空室
● 引渡日 / 即可 ● 用途地域 / 第2種住居地域
● 総戸数 / 57戸 ● バルコニー方位 / 南 ● 管理費 / 11,600円 ● 修繕積立金 / 6,300円
● 土地権利 / 所有権 ● 管理方式 / 自主管理
● 管理会社 / (株) シャトー管理
● 駐車場 / 敷地内 (月額 36,000円)
● 駐輪場 / 敷地内 (月額 1,500円)
● バイク置場 / 敷地内 / 無 ● ペット飼育 / 不可 ● 備考 / 水道基本料 (月額 1,000円)

中銀第二城北パークマンション 206号室

六本木駅 徒歩8分
麻布十番駅 徒歩16分

＜販売価格＞
2,890万円
税込み
アフターサービス保証

● 所在 / 板橋区坂下3-5-17 ● 構造・階数 / 鉄骨鉄筋コンクリート造
● 11階建 8階部分 ● 専有面積 / 55.52㎡ (約 16.82坪)
● バルコニー面積 / 6.90㎡ ● 築年月 / 昭和 59年 10月
● 現況 / 空室 ● 引渡日 / 即可 ● 用途地域 / 準工業地域
● 総戸数 / 104戸 ● バルコニー方位 / 南 ● 管理費 / 6,900円
● 修繕積立金 / 10,740円 ● 土地権利 / 所有権
● 管理会社 / 中銀(インテグレーション) (株)
● 管理形態 / 全部委託 ● 駐車場 / 敷地内 (月額 25,000円)
● 駐輪場 / 敷地内 (1台目無料、2台目月額 500円)
● 月額 / 月額 1,000円 ● イキ置場 / 敷地内 (月額 1,500円)
● ペット飼育 / 不可 ● 備考 / 水道基本料 (月額 1,000円)
● ペット飼育 / 不可 ● 備考 / 水道基本料 (月額 1,000円)

シャトー赤坂 207号室

赤坂駅 徒歩4分
溜池山王駅 徒歩10分

＜販売価格＞
2,790万円
税込み
アフターサービス保証

● 所在 / 港区赤坂6-5-21 ● 構造・階数 / 鉄筋コンクリート造地下1階付8階建 2階部分
● 専有面積 / 35.32㎡ (約 10.68坪)
● バルコニー面積 / 2.70㎡
● 築年月 / 昭和 44年 4月 ● 現況 / 空室
● 引渡日 / 即可 ● 用途地域 / 第2種住居地域
● 総戸数 / 57戸 ● バルコニー方位 / 南 ● 管理費 / 11,600円 ● 修繕積立金 / 6,300円
● 土地権利 / 所有権 ● 管理方式 / 自主管理
● 管理会社 / (株) シャトー管理
● 駐車場 / 敷地内 (月額 36,000円)
● 駐輪場 / 敷地内 (月額 1,500円)
● バイク置場 / 敷地内 / 無 ● ペット飼育 / 不可 ● 備考 / 水道基本料 (月額 1,000円)

未来を共に創造する

DAISANGEN

東京都知事(1)第九七七一九号

株式会社 大三元

〒171-0021

東京都豊島区西池袋 4-19-4

不動産コンサルティング、お任せください

03-5917-0727

03-5917-0047